

統計研修講義計画書

研修課程	本科（総合課程）	講義科目	標本調査法	講義時間	14 コマ
講 師	服部 雄太 総務省統計研究研修所統計技術支援課				

※1コマ70分

講義のねらい

標本調査法の知識は公的統計調査の設計及び結果精度を解釈する上での基礎となる。また、アンケートやインタビューなど、政策効果を判定するための調査を設計する際の基本的なツールである。

本科目は、標本調査をいかに企画・設計するか、標本調査によって得られた数値がどの程度信頼できるのかを検討するための統計的知識の修得を目指す。

加えて、標本調査に必ず付随するデータの収集と取扱いの観点から、個人情報保護及び匿名化処理、マイクロデータと標本調査との関連について、発展的な内容として触れる。

指導項目と内容

指 導 項 目	内 容
<p>本科目は以下の4部構成（各3コマ）及び試験（問題解説を含む）で構成する。</p> <p>1. 母集団と標本</p> <p>2. 標本設計</p> <p>3. 標本抽出法</p> <p>4. 実例の紹介と発展的内容</p> <p>5. 試験と解説</p> <p>試験には電卓及び関数電卓の持ち込みを許可する。 ※通信機能又は文字記録機能を持つ電卓の使用は認めない。</p>	<p>1. 母集団と標本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 概論 ・ 統計的推測の確認 ・ 母集団の設定と推定量 <p>2. 標本設計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査対象の設定と制約条件 ・ サンプルサイズの求め方 ・ 調査ありきの結果推定 <p>3. 標本抽出法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バイアス ・ 各種標本抽出法の紹介 ・ バイアスと誤差のコントロール <p>4. 実例の紹介と発展的内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 労働力調査（世帯） ・ ミクロデータ ・ 標本と特定可能性
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全数調査と標本調査 ・ 母集団と標本 ・ 母集団リスト ・ 精度設計 ・ 標本抽出法の選択 ・ 誤差とその推定 ・ 単純無作為抽出とバイアス ・ 毎月勤労統計（事業所） ・ レコードと乗率 ・ 秘匿処理

講義形態 指導方法

講義は、パワーポイント資料等を用いて適宜質問を交えながら進める。到達度確認と復習のため、講義終了時に練習問題を課す（提出不要）。

受講に必要な 基礎知識等

記述統計学・統計的推測の基礎（用語の指す概念が説明できる程度の知識）
統計法及び個人情報保護法（個人情報の帰属と第三者提供部分）